

はじめに

京都市では、昭和63年1月に住民基本台帳の電子計算機による処理を開始しました。これを受けて、同年10月から公称町別世帯数及び男女別人口と世帯構成人員別世帯数の統計表の作成を開始し、1月、4月、7月、10月の3か月ごとに集計し、公表してまいりました。また、平成元年4月からは、年齢別人口についても統計表を作成し、行政区別5歳階級別年齢別男女別人口の公表を行うなど、統計表の整備を図ってまいりました。

この集計結果のうち、公称町別世帯数及び男女別人口については、平成4年3月から「京都市住民基本台帳による町別人口」を毎年作成（平成4年3月に昭和63年からの3か年分を作成することから開始）してまいりました。

住民基本台帳による人口統計に関しましては、この公称町別世帯数及び男女別人口のほか、世帯構成人員別世帯数や年齢別人口の統計表を作成しておりますので、平成18年版以降の報告書は、名称を「京都市の住民基本台帳人口」に改称し、これらの統計表の一部についても年次ごとに掲載しております。

なお、平成18年4月から、集計対象を一部変更（転出者の取扱いについて、転出届を提出した場合は届出日より転出者としていたものを、転出予定日をもって転出者とするに変更）しております。平成17年以前の数値との比較につきましては、ご注意ください。

この報告書が利用者の皆様に幅広くご活用いただければ幸いです。

平成22年 2月

京都市総合企画局情報化推進室情報統計担当

【ご利用上の注意】

- 1 統計表中の符号の「—」は該当数値なしを、「0」は表章単位に満たないことを表しています。
- 2 この報告書で集計単位としている「公称町」とは、「京都市区の所管区域条例」に定める町をいい、公称町でない場合は町名の後に「×」印を付けています。また、「元学区」とは、戦前の学区制度に由来した地域住民の自治単位をいい、原則として、6・3制実施直前の小学校の通学区域を単位としているため、戦後に京都市に編入した区域については当時の町村単位となっています。

なお、平成17年4月に編入された京北町の区域については、人口規模を考慮して、昭和30年の合併前の旧6村を表章単位としています。

- 3 この報告書では、次に掲げる元学区名及び町名については、右側に表示した表記にしています。

葛野 …………… 葛野
西京極 葛野町 …………… 西京極葛野町
京北細野町 榎木谷 …………… 京北細野町*（もみの）木谷